

平成 20 年度建設投資見通しの概要

1. はじめに

国土交通省は「平成 20 年度建設投資見通し」を発表した。発表資料に基づきその概要を報告する。

建設投資推計は、我が国の全建設活動の動向を出来高ベースで把握するもので、国内建設市場の規模とその構造を明らかにすることを目的としている。建設投資とは、建物及び構築物に対して投資することで、一般的には建設工事によって新たに固定ストックに付加される部分である。建設工事の全てが建設投資となるとは限らず、建設投資の額には用地・補償費、調査費等は含まれていない。また、建設工事には、建物又は構築物の新設・改良・立替・復旧のための工事のほか、維持修繕のための工事があるが、維持修繕のための工事は、国民経済計算上、固定資本ストックの増分とはならないため投資とは見なされていない。ただし、公共事業の維持修繕は投資として扱われている。

2. 建設投資の動向と見通し

平成 20 年度建設投資（名目値）は、前年度比 1.4 % 増の 49 兆 3,600 億円となる見通しである。政府・民間別に見ると、政府投資は 16 兆 5,000 億円（前年度比 7.8 % 減）、民間投資は 32 兆 8,600 億円（前年度比 6.8 % 増）、建築・土木別に見ると、建築投資は 29 兆 4,400 億円（前年度比 5.8 % 増）、土木投資は 19 兆 9,200 億円（前年度比 4.4 % 減）となる見通しである（表—1）。

平成 19 年度建設投資（名目値）は、前年度比 6.2 % 減の 48 兆 6,700 億円となる見込みである。

政府・民間別に見ると、政府投資は 17 兆 9,000 億円（前年度比 2.1 % 減）、民間投資は 30 兆 7,700 億円（前年度比 8.3 % 減）、建築・土木別に見ると、建築投資は 27 兆 8,300 億円（前年度比 8.8 % 減）、土木投資は 20 兆 8,400 億円（前年度比 2.3 % 減）となる見込みである（表—1）。

昭和 59 年度以降、建設投資は前年度比プラスで推移し、平成 4 年度には 84 兆円に達した。しかし、バブル崩壊後民間建設投資が減少し、平成 8 年度は民間住宅投資の増加により 80 兆円を回復し

表—1 平成 20 年度建設投資見通し（名目値）

（単位：億円 %）

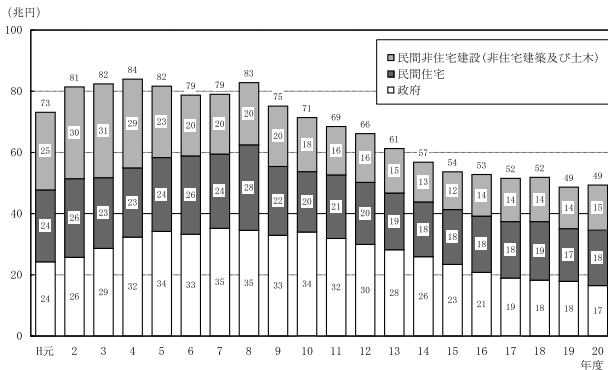
| | 投 資 額 | | | | 対 前 年 度 伸 び 率 | | | |
|------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|------------------|-------------------|------------------|
| | 平成 17 年度 実績 | 18 年度 見込み | 19 年度 見込み | 20 年度 見通し | 平成 17 年度 | 18 年度 | 19 年度 | 20 年度 |
| 総額 (実質) | 515,676 (514,784) | 518,600 (507,781) | 486,700 (467,334) | 493,600 (464,910) | ▲ 2.4 (▲ 3.5) | 0.6 (▲ 1.4) | ▲ 6.2 (▲ 8.0) | 1.4 (▲ 0.5) |
| 建築 (実質) | 297,142 (297,748) | 305,300 (300,025) | 278,300 (268,534) | 294,400 (278,139) | 0.1 (▲ 0.7) | 2.7 (0.8) | ▲ 8.8 (▲ 10.5) | 5.8 (3.6) |
| 住宅 | 189,675 | 196,500 | 177,000 | 185,800 | ▲ 0.4 | 3.6 | ▲ 9.9 | 5.0 |
| 政府 | 5,417 | 5,500 | 4,900 | 4,700 | ▲ 18.9 | 1.5 | ▲ 10.9 | ▲ 4.1 |
| 民間 | 184,258 | 191,000 | 172,100 | 181,100 | 0.3 | 3.7 | ▲ 9.9 | 5.2 |
| 非住宅 | 107,467 | 108,800 | 101,300 | 108,600 | 0.9 | 1.2 | ▲ 6.9 | 7.2 |
| 政府 | 15,110 | 14,000 | 15,100 | 11,400 | ▲ 12.0 | ▲ 7.3 | 7.9 | ▲ 24.5 |
| 民間 | 92,357 | 94,800 | 86,200 | 97,200 | 3.4 | 2.6 | ▲ 9.1 | 12.8 |
| 土木 (実質) | 218,534 (217,036) | 213,300 (207,756) | 208,400 (198,800) | 199,200 (186,771) | ▲ 5.5 (▲ 7.0) | ▲ 2.4 (▲ 4.3) | ▲ 2.3 (▲ 4.3) | ▲ 4.4 (▲ 6.1) |
| 政府 | 169,211 | 163,400 | 159,000 | 148,900 | ▲ 8.3 | ▲ 3.4 | ▲ 2.7 | ▲ 6.4 |
| 公共事業 | 150,853 | 145,900 | 142,600 | 132,700 | ▲ 7.9 | ▲ 3.3 | ▲ 2.3 | ▲ 6.9 |
| その他 | 18,358 | 17,500 | 16,400 | 16,200 | ▲ 11.3 | ▲ 4.7 | ▲ 6.3 | ▲ 1.2 |
| 民間 | 49,323 | 49,900 | 49,400 | 50,300 | 5.3 | 1.2 | ▲ 1.0 | 1.8 |
| 再 掲 | 189,738 (189,070) | 182,900 (179,142) | 179,000 (171,797) | 165,000 (155,797) | ▲ 8.9 (▲ 10.2) | ▲ 3.6 (▲ 5.3) | ▲ 2.1 (▲ 4.1) | ▲ 7.8 (▲ 9.3) |
| 民間 (実質) | 325,938 (325,714) | 335,700 (328,639) | 307,700 (295,537) | 328,600 (309,113) | 1.9 (0.9) | 3.0 (0.9) | ▲ 8.3 (▲ 10.1) | 6.8 (4.6) |
| 民間非住宅建設 | 141,680 | 144,700 | 135,600 | 147,500 | 4.0 | 2.1 | ▲ 6.3 | 8.8 |

(注) 1. 下段 () 内は実質値（平成 12 年度基準）である。

2. 民間非住宅建設は、民間非住宅建築と民間土木の合計である。

たものの、以降は民間投資、政府投資ともに減少して60兆円台に、平成14年度以降は50兆円台に入り、漸減して平成19年度には50兆円を切っている。平成20年度の見通しでは平成4年度ピーク時の約59%になる(図-1)。

建設投資額(名目)の推移



建設投資額(名目)の伸び率と寄与度

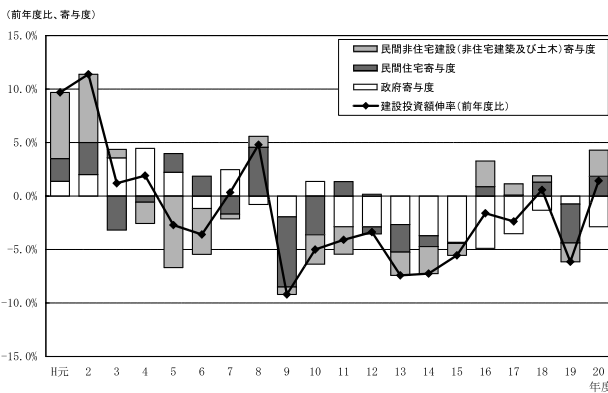


図-1 建設投資額(名目)の推移、建設投資額(名目)の伸び率と寄与度

3. 項目別の動向と見通し

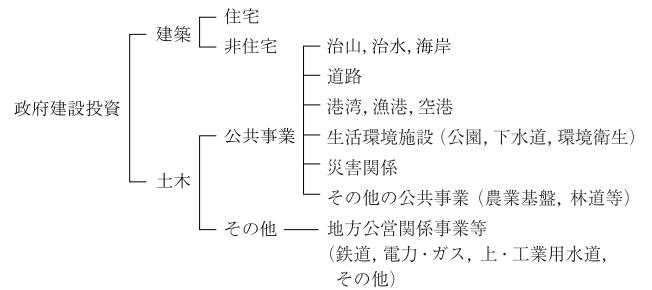
(1) 政府建設投資

平成20年度政府建設投資は、当初の政府予算において一般公共事業費及び地方財政計画の地方単独事業費が減少すること等から、前年度比7.8%減の16兆5,000億円となる見通しである。

このうち、建築投資は前年度比19.5%減の1兆6,100億円(住宅投資前年度比4.1%減の4,700億円、非住宅建築投資前年度比24.5%減の1兆1,400億円)、土木投資は前年度比6.4%減の1兆8,900億円(公共事業前年度比6.9%減の1兆2,700億円、公共事業以外前年度比1.2%減の1兆6,200億円)となる見通しである。

平成19年度政府建設投資は、前年度比2.1%減の17兆9,000億円となる見込みである。

政府建設投資の概念区分は次のとおり。



(2) 住宅投資

平成20年度住宅投資は、新設住宅着工戸数が建築基準法改正の影響により着工が落ち込んだ平成19年度の反動により、民間住宅投資は前年度比5.2%増の18兆1,100億円、政府住宅投資を合わせた住宅投資全体では前年度比5.0%増の18兆5,800億円となる見通しである。

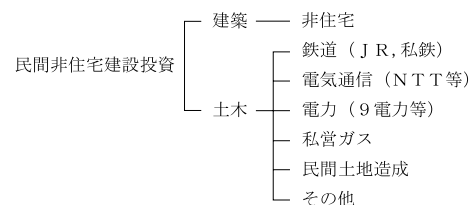
平成19年度住宅投資は、新設住宅着工戸数で見ると、前年度比19.4%減の103万6千戸(平成18年度128万5千戸)となっている。利用関係別では、持家31万2千戸(前年度比12.3%減)、貸家43万1千戸(前年度比19.9%減)、給与住宅1.0万戸(前年度比13.3%増)、分譲住宅28万3千戸(前年度比26.1%減)となっている。民間住宅投資は、前年度比9.9%減の17兆2,100億円、住宅投資全体では、前年度比9.9%減の17兆7,000億円となる見込みである。

(3) 民間非住宅建設投資(非住宅建築及び土木)

平成20年度の民間非住宅建設投資は、建築基準法改正の影響から回復することもあって着工面積の増加等が見込まれることから、前年比8.8%増の14兆7,500億円(非住宅建築投資前年度比12.8%増の9兆7,200億円、土木投資前年度比1.8%増の5兆300億円)となる見通しである。

平成19年度民間非住宅建設投資は、前年度比6.3%減の13兆5,600億円となる見込みである。このうち、非住宅建築は前年度比9.1%減の8兆6,200億円、土木投資は前年度比1.0%減の4兆9,400億円となる見込みである。

民間非住宅建設投資の概念区分は次のとおり。



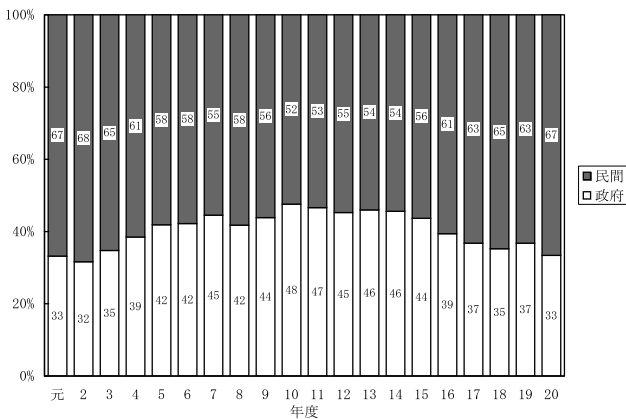
非住宅建設投資の用途は、企業の設備投資と関係する工場・倉庫、事務所、店舗等で、学校、病院、ホテルのほか、美術館、公民館等の公共的建物である。

統計

4. 参考資料

(1) 建設投資の政府・民間別構成比の推移 (図一2)

昭和50年代末から民間投資のウエイトが年々高まり、平成2年度には68.4%にまで達した。バブル崩壊後には民間投資が減少する一方で、数次の経済対策による補正等で政府投資が増加したことから民間投資のウエイトが低下した。平成8年度は民間住宅投資の好調から民間投資のウエイトが上昇したものの、その後は民間投資の停滞と公共投資追加等により民間投資のウエイトは低下した。平成11年度からは民間投資のウエイトが徐々に上昇し、平成20年度は、民間投資67対政府投資33となる見通しである。

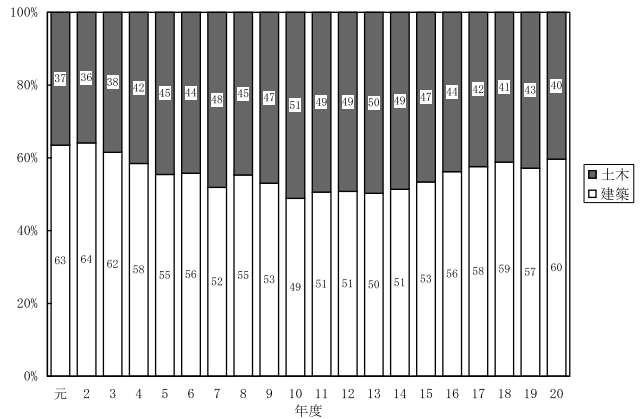


図一2 建設投資の政府・民間別構成比の推移

(2) 建設投資の建築・土木別構成比の推移 (図一3)

土木投資のウエイトは、昭和50年代には概ね40%程度で推移してきたが、昭和62年度以降建築投資の増加により低下した。平成3年度以降は景気停滞に伴う建築投資が減少する一方で、経済対策により政府土木投資が大幅に増加したことから土木投資のウエイト

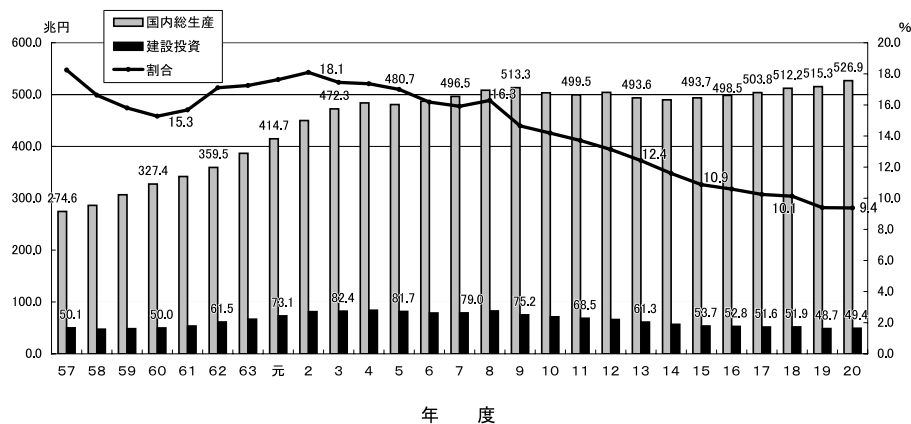
が高まった。その後、平成8年度に民間建築投資のウエイトが高まったものの、平成10年度以降は建築と土木はほぼ半々で推移した。平成14年度以降建築投資の上昇傾向になり、平成20年度は、建築投資60対土木投資40となる見通しである。



図一3 建設投資の建築・土木別構成比の推移

(3) 建設投資と国内総生産 (図一4)

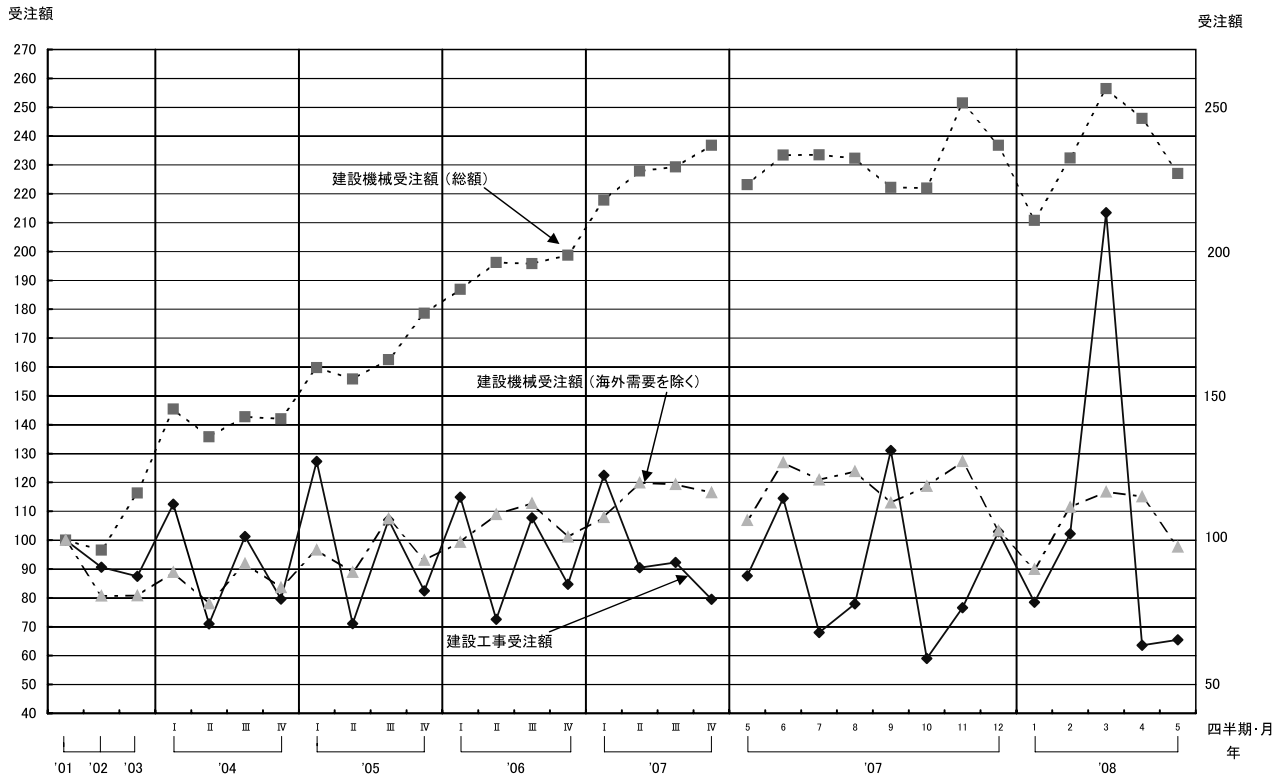
国内総生産 (GDP) に占める建設投資の割合は、昭和50年代前半までは20%程度の水準で推移していたが、昭和54年度以降漸減傾向となり、昭和60年度には15.3%まで落ち込んだ。昭和61年度以降民間建設投資の活発化により拡大基調で推移し、バブル期の平成2年度は18.1%となった。しかし、その後は再び減少し、平成8年度には民間建築投資の好調により16%台を持ち直したが、政府の公共投資による景気対策にもかかわらず平成9年度は14%台、平成13年度には12%台までに下がり、平成20年度は9.4%となる見通しである。



図一4 建設投資と国内総生産

建設工事受注額・建設機械受注額の推移

建設工事受注額：建設工事受注動態統計調査(大手50社) (指数基準 2001年平均=100)
 建設機械受注額：建設機械受注統計調査(建設機械企業数24前後) (指数基準 2001年平均=100)



建設工事受注動態統計調査 (大手50社)

(単位：億円)

| 年月 | 総計 | 受注者別 | | | | | | 工事種別 | | 未消化 工事高 | 施工高 |
|---------|---------|---------|--------|--------|--------|-------|--------|---------|--------|------------|---------|
| | | 民間 | | | 官公庁 | その他 | 海外 | 建築 | 土木 | | |
| | | 計 | 製造業 | 非製造業 | | | | | | | |
| 2001年 | 143,383 | 90,656 | 15,363 | 75,293 | 39,133 | 6,441 | 7,153 | 93,605 | 49,778 | 162,832 | 160,904 |
| 2002年 | 129,862 | 80,979 | 11,010 | 69,970 | 36,773 | 5,468 | 6,641 | 86,797 | 43,064 | 146,863 | 145,881 |
| 2003年 | 125,436 | 83,651 | 12,212 | 71,441 | 30,637 | 5,123 | 5,935 | 86,480 | 38,865 | 134,414 | 133,522 |
| 2004年 | 130,611 | 92,008 | 17,150 | 74,858 | 27,469 | 5,223 | 5,911 | 93,306 | 37,305 | 133,279 | 131,313 |
| 2005年 | 138,966 | 94,850 | 19,156 | 75,694 | 30,657 | 5,310 | 8,149 | 95,370 | 43,596 | 136,152 | 136,567 |
| 2006年 | 136,214 | 98,886 | 22,041 | 76,845 | 20,711 | 5,852 | 10,765 | 98,795 | 37,419 | 134,845 | 142,913 |
| 2007年 | 137,946 | 103,701 | 21,705 | 81,996 | 19,539 | 5,997 | 8,708 | 101,417 | 36,529 | 129,919 | 143,391 |
| 2007年5月 | 10,466 | 7,894 | 1,826 | 6,069 | 961 | 429 | 1,181 | 7,747 | 2,718 | 137,504 | 10,827 |
| 6月 | 13,680 | 10,649 | 2,193 | 8,457 | 1,700 | 520 | 811 | 10,667 | 3,013 | 138,439 | 12,818 |
| 7月 | 8,121 | 6,111 | 1,548 | 4,563 | 1,060 | 503 | 445 | 5,870 | 2,250 | 136,746 | 10,007 |
| 8月 | 9,305 | 6,781 | 1,204 | 5,578 | 1,342 | 456 | 726 | 6,959 | 2,346 | 135,311 | 10,300 |
| 9月 | 15,669 | 12,284 | 2,297 | 9,987 | 1,594 | 618 | 1,173 | 11,553 | 4,116 | 135,728 | 14,672 |
| 10月 | 7,044 | 5,368 | 1,311 | 4,056 | 882 | 437 | 358 | 5,019 | 2,025 | 132,936 | 9,864 |
| 11月 | 9,155 | 7,046 | 2,000 | 5,046 | 1,211 | 458 | 440 | 6,870 | 2,285 | 130,427 | 11,794 |
| 12月 | 12,293 | 8,722 | 1,712 | 7,011 | 2,068 | 518 | 984 | 8,821 | 3,472 | 129,919 | 12,450 |
| 2008年1月 | 9,385 | 6,789 | 1,358 | 5,432 | 1,686 | 352 | 557 | 6,737 | 2,648 | 130,042 | 9,709 |
| 2月 | 12,212 | 7,768 | 1,823 | 5,946 | 3,371 | 481 | 591 | 8,242 | 3,969 | 130,681 | 11,615 |
| 3月 | 25,513 | 18,247 | 4,046 | 14,201 | 4,369 | 602 | 2,295 | 18,308 | 7,206 | 134,911 | 20,115 |
| 4月 | 7,598 | 5,844 | 1,639 | 4,205 | 759 | 450 | 545 | 5,456 | 2,141 | 132,528 | 10,963 |
| 5月 | 7,829 | 6,064 | 1,515 | 4,540 | 839 | 440 | 485 | 5,816 | 2,012 | — | — |

建設機械受注実績

(単位：億円)

| 年月 | 01年 | 02年 | 03年 | 04年 | 05年 | 06年 | 07年 | 07年 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 08年 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 |
|---------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|-------|-------|-------|-------|
| 総額 | 8,983 | 8,667 | 10,444 | 12,712 | 14,749 | 17,465 | 20,478 | 1,671 | 1,747 | 1,748 | 1,739 | 1,663 | 1,662 | 1,883 | 1,773 | 1,578 | 1,740 | 1,919 | 1,842 | 1,699 |
| 海外需要 | 3,574 | 4,301 | 6,071 | 8,084 | 9,530 | 11,756 | 14,209 | 1,189 | 1,175 | 1,203 | 1,181 | 1,154 | 1,127 | 1,309 | 1,308 | 1,173 | 1,238 | 1,393 | 1,323 | 1,259 |
| 海外需要を除く | 5,409 | 4,366 | 4,373 | 4,628 | 5,219 | 5,709 | 6,268 | 482 | 572 | 545 | 558 | 509 | 535 | 574 | 465 | 405 | 502 | 526 | 519 | 440 |

(注) 2001～2003年は年平均で、2004年～2007年は四半期ごとの平均値で図示した。
 2007年5月以降は月ごとの値を図示した。

出典：国土交通省建設工事受注動態統計調査
 内閣府経済社会総合研究所機械受注統計調査